

水道だより

平成23年11月1日号

No.10

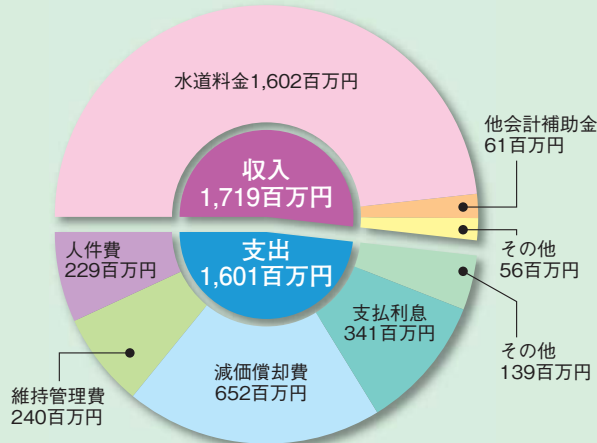
横浜市上下水道部経営管理課

横浜市四日町3番23号

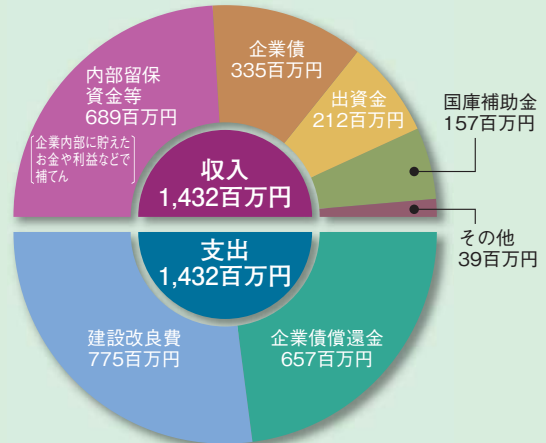
☎0182-35-2251

平成22年度水道事業会計決算の状況

収益的収支(税抜き)
純利益 11,858万円



資本的収支(税込み)



年間業務量

	平成22年度	平成21年度	比較増減
給水人口	81,365人	82,107人	△ 742人
給水件数	30,370件	30,182件	188件
年間配水量	10,696,962 ^{m³}	10,453,675 ^{m³}	243,287 ^{m³}
1日平均配水量	29,307 ^{m³}	28,640 ^{m³}	667 ^{m³}
年間有収水量(注1)	8,335,614 ^{m³}	8,161,856 ^{m³}	173,758 ^{m³}
有収率(注2)	77.93%	78.08%	△ 0.15%

(注1) 有収水量とは、料金徴収の対象となった水量のこと。(注2) 有収率とは、有収水量を配水量で除したものの。

事業報告概要

イ. 給水状況

22年度末における給水件数は、30,370件(前年度比較188件増)、給水人口は81,365人(前年度比較742人減)となり行政区域内における普及率は80.83%(前年度比較0.2%増)となりました。

また、年間配水量は10,696,962^{m³}(前年度比較243,287^{m³}増)、年間有収水量は8,335,614^{m³}(前年度比較173,758^{m³}増)、有収率については77.93%(前年度比較0.15%減)となりました。

ロ. 建設事業の状況

22年度の建設改良事業としては、市内各地の安定給水を図るために老朽設備の更新、緊急時給水拠点施設への管路耐震化、配水管の新設及び布設替工事を実施しました。

また、雄物川二井山地区の水質改善のために21年度から事業を進めてきた送水管布設及び配水ポンプ場建設工事が完成し、隣接する大森地域からの送水を開始しました。

ハ. 経営状況

22年度の収益的収支は、総収益が1,719,117,259円、総費用は1,600,540,993円で、118,576,266円の当年度純利益を生じ、給水原価(注3)も190.39円と前年度と比較して4.7円改善しました。

また、サービス水準の更なる向上・経営の効率化を図るために、料金業務を民間事業者へ委託しました。

(注3) 給水原価とは、水道水を1^{m³}作るのに必要とする経費のこと。